



県議会議員(山県郡)

# 宮本新八

しんぱち

山県郡北広島町細見863-1  
[TEL] 0826-35-0517 [FAX] 0826-35-0770

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室  
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185

※G.L育成校と県庁改修事業については中面に特集しています。

- ◆ 防災・減災対策に資する社会
- ◆ 二次保健医療圈の医療体制の充実
- ◆ 定住促進に繋がる空き家対策等を代表質問の場で質問しました。



城戸会長を囲み、左から宮本・砂原・井原・佐藤の各県議

## 広志会議員紹介

会長 城戸常太 [呉市] 農林水産委員会委員  
地方創生・行財政対策特別委員会委員

砂原克規 [広島市西区] 総務委員会委員  
少子化・人材育成対策特別委員会委員

宮本新八 [山県郡] 建設委員会委員  
安心な環境づくり対策特別委員会委員長

井原 修 [東広島市] 文教委員会副委員長  
広域・国際観光振興対策特別委員会委員

佐藤一直 [広島市中区] 生活福祉保健委員会委員  
地域魅力創造対策特別委員会委員  
予算特別委員会副委員長



山県郡版

## 未来に残る地域を目指して 宮本新八



おかげさまで県議当選から1年を経過し、皆様のご支援に感謝いたします。2月定例会では「広志会・つばさ」を代表して質問をしましたので、中面に統一報告をいたします。

防災・減災対策に取り組む  
県の責務について

中長期的に必要な防災施設整備計画を具体的に策定し、それに必要な公共事業費を、施設的経費全体の中で優先的確保することについて、県の認識を取り組みます。

答弁 社会資本未来プランなどにおいて、防災・減災対策の充実・強化の加速化に取り組む。河川や砂防などの次期事業別整備計画においては、平成32年度までの投資予定額及び整備目標を明確にした上で、土砂災害対策、緊急輸送道路の整備、堤防や護岸の耐震化などに積極的に取り組み、社会資本整備を強力に進めていく。

## 県民のためになるかを軸に議会で 代表質問のポイント

県民が納得できる広島県政実現を目標に、広志会は新旧の課題が解決するまで問題提起

する姿勢を続け、今定例会でも知事の考え方を問いました。まず

1、長期的な展望に立った県政運営の在り方についてとして

◆ グローバルリーダー(G.L)育成校の設置 ◆ 県庁舎の改修事業の在り方 ◆ 広島市東部地区連続立体交差事業 ◆ 県営水道事業の民営化の4項目を質問。

次に2、防災・減災対策に取り組む県の責務についてとして

◆ 防災・減災対策に資する社会資本整備 ◆ 地域の建設業者の適正な確保の2項目を質問。さらには3、地域力強化につなげる今後の政策課題として、特に中山間地域の現状を踏まえて

◆ 二次保健医療圏の医療体制の充実 ◆ 定住促進に繋がる空き家対策等を代表質問の場で質問しました。

## 6項目の反対討論を

代表質問に続き、裁決の際に、執行部の6つの提案に対しても反対意見を述べました。

1、県職員の給与引き上げと管理職手当の引き上げについては、成果主義という目的が公平性を欠くことから反対。2、広島がん高精度放射線治療センター

の補正予算には、極めて甘い経営計画により生じた赤字を一般財源で補てんすることには反対。3、東部連続立体交差事業は、地元合意が得られておらず反対。4、グローバルリーダー

育成校の設置設計予算は、学校の規模や設置場所等が全て確定していないのに最大限規模で予算案が組まれ、審議の手続を無視しているとして反対。5、県庁舎の耐震改修工事設計予算は、前述と同様に要求額に根拠がない上、莫大な費用を当面の耐震改修に充てるが、周辺地域も含めた都市機能強化策がみえないとして反対。6、水道事業の事業運営権を民間企業に売却する制度案は、水の安定供給は公共が確保すべきライフルインの中で最も重要なものであり、しっかりと行政のコントロールが必要なことから反対しました。



## 二次保健医療圏の体制は

中山間地域の二次保健医療圏では、地域医療構想に基づき事情に応じた弾力的対応が求められる病床転換や、偏在が顕著な医師確保に、どう取り組んで行くのか。

答弁 療養病床の転換は、中山間地域における在宅医療を支えるサービス提供の状況も含め弾力的対応が必要であり、医療と介護、住まいの提供体制を地域の意見も踏まえて一体的に検討していく。

医師の確保は、自治医科大学や広島大学ふるさと枠の卒業や空き家撤去対策を実効性のあるものにする県独自の支援策はどうなのか。また、既存の空き家の転用やリフォームを強く促進していくべきだが、どのような取り組みが可能か。

答弁 県、全市町、関係団体で構成する「広島県空き家対策推進協議会」を設立し、所有者からの相談、空き家の発生抑制や適正管理の事例を示すなど、地域の実情に応じた空き家対策に取り組んでいる。

また、空き家の利活用については移住希望者などのニーズに応じた実践的なアドバイスを行っていき、今後とも、市町と連携して空き家対策に取り組み、利活用が進むよう支援や情報発信に努めていく。

らの事業の実施及び除雪や災害発生時の緊急対応など、県民の安全・安心を確保する上で、重要な役割を果たしていると認識している。

このため「広島県建設産業ビジョン2016」を策定して、契約制度改正についてどう認識をし、今後どのような方針で取り組むのか。

中山間地域の建設事業者の生き残りを図るために、受注機会拡大につながる具体的な入札契約制度改正についてどう認識をし、今後どのような方針で取り組むのか。

2月定例会では代表質問を

建設業者の適正な確保

中山間地域の建設事業者の生き残りを図るために、受注機会拡大につながる具体的な入札契約制度改正についてどう認識をし、今後どのような方針で取り組むのか。

空き家対策

中山間地域で、市町による空き家撤去対策を実効性のあるものにする県独自の支援策はどうなのか。また、既存の空き家の転用やリフォームを強く促進していくべきだが、どのよう取り組みが可能か。

このため「広島県建設産業ビジョン2016」を策定して、契約制度改正についてどう認識をし、今後どのような方針で取り組むのか。

医師等を中山間地域の公的医療機関に配置し、また、現場のセミナー等により医学生の地域医療マインドの醸成に努めている。